

## 私の仕事観

私は基本的にどんな人であっても、能力的な差はないと思っています。もし差があるとすれば、それは持っている能力をフルに発揮できているかどうか、あるいは成長して自分の可能性を広げていきたか、あるいは意思を本気で持っているかどうかだと思います。「本気でやればできないことは何一つとしてない」「他人より10%だけ多く努力を続ければ一流になれる」、私は強くそう思います。またどんな仕事でも相手にとって本当に必要なものだけを提供する、それを積み上げて世界で一番必要とされる会社になっていきたいと考えています。

# Face of

## 職業訓練機能の充実や就業環境の改善で、

## 全ての派遣社員をワンランク上のステージへ。

### 最近思っていることあり

非正規雇用やブラック企業をめぐる極端な報道に疑問を感じます。派遣会社にとって派遣社員は大切な資産です。派遣会社として日々取組んでいることを振り返れば、その資産を邪険に扱う派遣会社なんて、まるで「青い赤鉛筆」のような論理矛盾です。

そうした報道のためか、若い姪っ子に「大きくなったら派遣社員にはなりたくない」と言われたことがあります。しかし、派遣で働くということは、そんなに悪いことでしょうか？ 派遣も一つの働き方であり、例えば、ワーク・ライフ・バランスを重視している人にとっては、派遣ほどその人の望むスタイルに近い働き方はないのではないか、と思います。みなさん、そうは思いませんか？



### ●会社概要

2006年10月設立。「地元の人を地元の職場へ」派遣社員は派遣会社の正社員「あなたにとって必要な会社」を合言葉に地域密着型派遣サービスを展開。自社研修センターを軸とした「人材在庫を抱える」ユニークな派遣サービスは、「速い、安心、ジャスト品質！」と取引先からも好評を博す。  
<http://www.nfa-g.com>

## 未来に向かって

とはいえ、現時点では、派遣会社や派遣社員が、一段下に見られているのは、残念ながら事実です。ですから私は、派遣社員の地位向上を図っていききたい。

派遣会社には3つの役割があります。一つは、雇用の受け皿、失業している人を徹底的に減らすこと。一つは、職業訓練機関、全ての人がワンランク上のステージに挑戦できるような職業能力向上のお手伝いをする。一つは、就業環境の改善提案です。本来これらは行政や労働組合の担当分野かも知れませんが、もし十分に機能していないのであれば、派遣会社こそがその役割を担い、職場の発展と派遣社員の地位向上に取り組みたい。そして考え方が近い派遣会社ともしっかり連携していきたいですね。

株式会社エヌエフエー  
代表取締役

大崎 玄長

おおさき もとなが

1973年大阪府生まれ。中央大学卒業後、経営コンサルティング会社に入社。2000年より中小企業診断士として地域製造業の活性化に携わり、人的資源管理の重要性を痛感。06年に株式会社エヌエフエーを設立、代表取締役に就任。派遣事業を主軸に、自社研修センターの運営や派遣先の労務経営相談も手がける。社会保険労務士有資格者でもある。